

うるま市の概要

位置と地勢

うるま市は、沖縄本島の中部の東海岸に位置しており、東に金武湾、南に中城湾の両湾に接しています。東南に伸びる半島部の北方および東方海上には、有人・無人を含めて八つの島々があり、このうち五つの島は海中道路や橋によって結ばれています。さらに、世界遺産の勝連城跡や標高820mの石川岳、沖縄本島で一番大きな天願川もあり、面積86.00km²の豊かな自然環境と海洋資源に恵まれた住みよいまちです。

豊かな自然と伝統文化のまち

闘牛で有名な具志川市、戦後沖縄復興の第一歩を記した石川市、世界遺産の勝連城跡を有する勝連町、マリンスポーツのメッカとなった与那城町の二市二町が平成17年4月1日に合併し、うるま市が誕生しました。

四市町は、これまでそれぞれの地域特性を生かしたまちづくりをすすめながら、ごみ処理、学校教育、消防行政については一部事務組合を設立し共同で推進してきました。

また、商業圏や通勤・通学、地縁・血縁などの交流も盛んであったことから地域の一体感は極めて高かったという背景もあり合併に至り人口が約11万6千人の県内第3番目のまちとなりました。

本市では、地域で育まれてきた歴史・伝統文化を大事にし、地域間の信頼関係の構築と均衡ある発展のため、市民1人ひとりがジリツ（自立・自律）し、郷土への誇りをもつところをひとつにして「豊かな自然と人が調和した健康で豊かな活力ある、歴史と教育文化」の実現を目指して、新たに飛躍する魅力あるまちづくりを進めています。